

平成30年第3回
組合議会定例会議事録

招集日 平成30年8月20日

招集場所 クリーンプラザふじみ大会議室

ふじみ衛生組合議会

平成30年第3回 組合議会定例会議事録

招集日 平成30年8月20日(月)

招集場所 クリーンプラザふじみ大会議室

1. 出席議員(10名)

1番 丸田 絵美

2番 鈴木 宗貴

3番 橘 正俊

4番 渡辺 進二郎

5番 川畑 英樹

6番 粕谷 稔

7番 高谷 真一朗

8番 嶋崎 英治

9番 吉野 和之

10番 森 徹

2. 欠席議員(0名)

3. 出席説明員

管 理 者	清 原 慶 子	副 管 理 者	長 友 貴 樹
参 与	内 田 治	参 与	伊 藤 栄 敏
監 査 委 員	奈 良 正 弘		
総 務 主 幹	大 野 憲 一	総 務 主 幹	岩 本 宏 樹
清 掃 主 幹	岩 崎 好 高	清 掃 主 幹	丸 山 義 治
人 事 主 幹	近 藤 さやか	文 書 主 幹	一 條 義 治
財 務 主 幹	石 坂 和 也	契 約 ・ 検 査 主 幹	富 永 幹 雄
会 計 管 理 者 ・ 出 納 主 幹	大 朝 撰 子	監 事 務 局 査 長	荒 川 浩 一
事 務 局 長	荻 原 正 樹	事 務 局 次 長	上 野 洋 樹
総 務 課 長	宮 崎 治	施 設 課 長	岡 田 賢 一 郎
施 設 課 長 補 佐	星 野 巖 雄		

午前9時54分開会

○議長（鈴木宗貴君） それでは、定刻前ですが、おそろいでございますので始めさせていただきます。

○議長（鈴木宗貴君） これより平成30年第3回ふじみ衛生組合議会定例会を開会いたします。

直ちに、本日の会議を開きます。

日程第1 会期の決定

○議長（鈴木宗貴君） 日程第1、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。会期は本日1日といたします。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（鈴木宗貴君） ご異議なしと認めます。よって、会期は本日1日とすることに決定しました。

日程第2 会議録署名議員の指名

○議長（鈴木宗貴君） 続きまして、日程第2、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第36条の規定により、3番橘正俊議員、及び9番吉野和之議員を指名いたします。

日程第3 管理者報告

○議長（鈴木宗貴君） 日程第3、管理者報告に入ります。

それでは、清原管理者、お願いいたします。

清原管理者。

○管理者（清原慶子君） 皆様、おはようございます。

今年の夏は記録的な猛暑が続きまして、台風も続けて大雨等の影響をもたらすなど、厳しい天候が続いています。残暑のお見舞いを申し上げます。

議員の皆様におかれましては、両市の議会を控えまして何かとご多用の時期に、平成30年第3回ふじみ衛生組合議会定例会をお願い申し上げまして、恐縮に存じます。

それでは、早速、管理者報告に入らせていただきます。本日ご報告申し上げます事項は

7件でございます。

ご報告の第1件目は、ふじみ衛生組合正副管理者の互選についてでございます。

先般、調布市長選挙が行われまして、長友貴樹さんが市長に再選されました。そこで、ふじみ衛生組規約第8条第2項の規定に基づきまして、正副管理者の互選を行いました。その結果、管理者を引き続き三鷹市長の私、清原慶子が務めさせていただき、副管理者を長友貴樹調布市長さんにお務めいただくこととなりましたので、ご報告を申し上げます。改めてどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

ご報告の第2件目でございますが、第2回組合議会定例会におきまして、監査委員に選任のご同意をいただきました奈良正弘さんをご紹介申し上げます。ここで一言、ご挨拶をさせていただいてよろしいでしょうか。

○監査委員（奈良正弘君）　ご紹介いただきました奈良正弘でございます。

さきに開催されました平成30年第2回組合議会定例会におきまして、監査委員として選任のご同意をいただき、誠にありがとうございます。大変光栄に存じますとともに、職責の重要さに身の引き締まる思いでございます。就任の上は、微力ではございますが、これまでの公認会計士としての経験を生かして、全力をもって誠心誠意、職務を全うしたいと考えております。

しかしながら、何分初めてのことでございますので、諸先生方並びに組合職員の皆様方のご協力をお願い申し上げる次第でございます。

私ごとになりますけれども、私は中学1年生のときまで調布市に居住しておりました。小学校は滝坂小学校の卒業でございます。転居して、今は三鷹市民でございますけれども、調布市に隣接するところに住んでおまして、調布市とかかわりなく生活できないような環境にあります。今回、三鷹市と調布市の共同の施設でありますふじみ衛生組合の監査委員に就任したのも、何かのご縁と考えております。両市の発展のために、誠実に職務を遂行してまいりたいと考えております。

本日はご挨拶の機会を頂戴いたしまして、誠にありがとうございます。簡単ではございますけれども、選任の御礼とこれからのご指導、ご鞭撻をお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

○管理者（清原慶子君）　どうもありがとうございます。

なお、奈良監査委員につきましては、ここで退席することをお認めいただきたく、よろ

しくお願いいたします。

それでは、ご報告の第3件目に移らせていただきます。ごみ処理実績についてでございます。なお、重量につきましては、小数点以下を四捨五入してご報告させていただきますので、ご了承をよろしくお願い申し上げます。

初めに、資料1をごらんください。

クリーンプラザふじみの平成30年4月から6月までの処理実績でございます。

この3カ月間の総搬入量は1万8,725トンでございまして、前年度と比較いたしますと、95トン、0.5%の増となっております。

その内訳といたしましては、三鷹市が7,324トンで構成比45.5%、前年度比50トン、0.7%の増、調布市が8,756トンで構成比54.5%、前年度比137トン、1.6%の増となっております。また、リサイクルセンターにおける処理後の可燃性残渣の搬入につきましては1,879トンで、前年度比148トン、7.3%の減となっております。そのほか、小金井市の広域支援では、767トンを受け入れました。

一方、この3カ月間で1万4,875トンを焼却処理いたしまして、焼却灰等1,783トンを搬出いたしました。

次に、資料2をごらんください。

リサイクルセンターの平成30年4月から6月までの処理実績でございます。

この3カ月間の総搬入量は、4,598トンでございまして、前年度と比較いたしますと、57トン、1.3%の増となっております。

その内訳といたしましては、三鷹市が2,301トンで構成比50.0%、前年度比17トン、0.7%の減、調布市が2,298トンで構成比50.0%、前年度比74トン、3.3%の増となっております。

報告の第4件目は、視察・見学の状況についてでございます。

資料4をごらんください。

クリーンプラザふじみ、平成30年4月から6月までの3カ月間の視察・見学者数でございます。

この3カ月間の見学者数は、25団体、714人でございました。前年同期と比べまして、9団体、472人の減となっております。学校の社会科見学が、5団体、435人の減となっておりますが、今年は2学期に訪れる学校が多いことによるもので、年間では例年どおりの見学者数を見込んでいます。また、海外からの視察につきましては、表の欄外1に

ありますように、8カ国からお越しいただいています。

なお、今年も夏休み期間中に、自由研究用の特別展示を実施するとともに、親子見学会を5回開催することとしています。好評のうちに4回まで終了し、最終回は8月23日に予定しています。

ご報告の第5件目は、地元協議会についてでございます。

7月23日に第55回地元協議会を開催いたしました。これまで同様に、ごみ処理実績や環境測定結果を報告するとともに、第6回ふじまつりについて協議を行いました。次の会議は10月22日に予定しています。

ご報告の第6件目は、ふじまつりについてでございます。

6回目を迎えますふじまつりにつきましては、来る11月25日、日曜日、午前10時から開催を予定しています。地元協議会委員の有志及びふじみ衛生組合職員による実行委員会を組織し、検討を進めているところでございます。当日は、三鷹市、調布市をはじめとして、調布消防署や隣接の宇宙航空研究開発機構などの行政関係機関等のほか、近隣大学や関連事業者のご協力のもと、企画、運営に当たることとしています。

本年も、三鷹市民駅伝大会と同日開催となる予定でございますので、多くの市民の皆様のご来場が想定されます。無事故で楽しんでいただけますように、万全の準備を整えてまいります。組合議員の皆様におかれましても、ご来場をお待ちしています。

ご報告の第7件目は、リサイクルセンター更新に関する覚書の締結についてでございます。

資料5-1をごらんください。

リサイクルセンターの更新につきましては、三鷹市、調布市及びふじみ衛生組合の3者で基本的事項を確認した後、基本構想策定など更新に向けた作業を進めることとしています。

このたび8月1日付で、基本的事項を取りまとめたリサイクルセンター更新に関する覚書を、三鷹市、調布市及びふじみ衛生組合の3者で取り交わしました。

その主な内容でございますが、更新事業の進捗状況を勘案しつつ、ふじみ衛生組合にリサイクルセンター更新事業準備室（仮称）を設置するとともに、環境影響評価や事業者選定などのスケジュール及び既存のリサイクルセンター東棟、北棟を含む施設の余寿命などの諸条件を総合的に勘案した結果、おおむね平成38年度の稼働を目標に施設整備を進めることといたしました。

今後とも、議会の皆様に適時適切にご報告をさせていただき、ご意見をいただきながら、リサイクルセンターの更新に向けて検討を進めてまいります。

私からの報告は以上でございます。

なお、ごみ処理実績及びリサイクルセンター更新に関する覚書の2点につきまして、事務局長から補足説明をいたさせますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○議長（鈴木宗貴君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） おはようございます。管理者報告につきまして、2件補足をさせていただきます。

第1件目は、ごみ処理実績についてでございます。管理者と同様に、重量につきましては、小数点以下を四捨五入してご報告させていただきますので、ご了承をお願いいたします。

資料1をごらんください。

クリーンプラザふじみの平成30年4月から6月までの3カ月間の処理実績でございます。

搬入実績につきましては、前年同期と比較いたしまして、総量で95トン、0.5%の増となりました。

その内訳ですが、1の委託収集、すなわち家庭系ごみにつきましては、三鷹市の汚れたプラスチックの収集区分が可燃に変更され1年が経過したことから、前年同期と比べ、ほぼ横ばいとなりました。また、3の持ち込み、いわゆる事業系ごみにつきましては、三鷹市、調布市とも微増となりました。調布市の事業系ごみの増加は、クリーンプラザふじみが稼働して以降、この傾向に変化はございません。これまでも申し上げてまいりましたが、廃棄物処理手数料の額の改定及び調布市の事業者を持ち込みが浸透したことなどが要因と考えております。

また、三鷹市の家庭系ごみの減少及び事業系ごみの増加の要因の1つには、従来は保護者が持ち帰っていたおむつを、保育園が回収し処理する方式に変更したことがあると推測されます。

一方、リサイクルセンターからの可燃性残渣につきましては、148トン、7.3%減少いたしました。これは、容器包装リサイクル法に基づく、指定法人ルートによるプラスチックのリサイクル量が増えたことによるものと捉えております。

なお、広域支援により小金井市から年間3,500トンを上限に受け入れることとして

おりますが、この3カ月間で搬入されたのは767トンで、現時点では予定量を大きく下回っております。搬入に伴う交通渋滞、不適物の混入などの問題は発生しておりません。

搬出実績につきましては、前年同期と比較いたしまして、69トン、4.0%の増となりました。これは、焼却量が前年同期と比較いたしまして、735トン増えたことによるものでございます。

次に、資料2をごらんください。

リサイクルセンターの平成30年4月から6月までの3カ月間の状況でございます。

搬入実績につきましては、総量で1.3%の増加となりました。この数年、微減傾向が続いておりましたが、今期は猛暑の影響でペットボトルが増加したこともあり、総量で微増となりました。

搬出実績につきましては、まず左側の有償・無償の資源物から申し上げます。総量は前年同期と比べ、201トン、8.8%の増となっています。この主な要因は、14番の容リ・プラスチックが162トンの増になったことによるものでございます。その他の増減につきましては、搬出時期等によるものと捉えております。

次に、右側の逆有償の資源物等搬出の欄をごらんください。前期同様、水銀を含む有害廃棄物及び処理困難物につきましては、逆有償での処分となっています。また、プラスチック類を含む可燃性残渣につきましては、クリーンプラザふじみにおきまして、全て焼却処理し熱回収いたしました。

続きまして、有価物品等の価格の推移でございます。資料3をごらんください。

平成30年第2回定例会以降の状況についてご説明申し上げます。B鉄以外の金属類につきましては、6月に入札を実施し、7月以降の売却単価が決定いたしました。その結果、鉄類につきましては、単価が4%程度上昇いたしました。アルミ類につきましては、特アルミ、これはアルミ缶でございますが、下落、その他のアルミについては上昇となりました。また、銅及びしんちゅうにつきましては、20から30%程度の上昇となりました。

金属資源市場は、世界経済の下振れリスクが高まっており、先行きが不透明な状況にあるようでございます。今後とも市況を見ながら、適切かつ有利な価格で売却できるよう努めてまいります。

2件目は、ふじみ衛生組合リサイクルセンター更新に関する覚書についてでございます。資料5-1をごらんください。

覚書の内容についてご説明いたします。

1点目と2点目は、管理者から報告があったとおりでございます。

3点目でございますが、更新後のリサイクルセンターで処理するごみの品目につきましては、当面は現在と同様、調布市の瓶・缶を除くものとし、将来的なあり方については、必要に応じ検討、協議を行います。また、処理対象ごみについては、収集方式の統一化を図るものとしします。

4点目でございますが、処理システムにつきましては、今後の技術革新の動向を見きわめながら検討してまいります。

5点目でございますが、市民参加及び情報公開につきましては、市民の皆様のご理解が不可欠ですので、適切な手法を検討しながら積極的に進めてまいります。

6点目でございますが、費用負担と職員体制についてでございます。

まず、費用負担につきましては、施設整備に要する経費は、施設整備実施計画策定までは三鷹市、調布市が均等に負担することとし、それ以降の費用負担については、今後協議を行ってまいります。また、運営に要する費用は、ふじみ衛生組合同規約第13条に基づき、前年のごみ処理量割により負担することといたします。

次に、リサイクルセンター更新事業準備室（仮称）の職員体制につきましては、施設整備完了まで三鷹市、調布市同数といたします。

7点目でございますが、リサイクルセンターの更新、運営につきましては、効率的で質の高い公共サービスの提供を図るため、民間の資金、技術等の活用を含め多角的に検討してまいります。

8点目でございますが、この覚書の内容に疑義が生じたとき、またはこの覚書に定めのない事項につきましては、3者が協議の上、別途定めることといたします。

続きまして、資料5-2をごらんください。

想定されるスケジュールでございます。

基本構想、基本計画策定の後、施設整備詳細検討を行い、実施計画を策定いたします。その後、環境影響評価などの各種手続、事業者選定を行い、9年目である平成38年度に竣工、稼働というように、現時点においてのスケジュール案を想定しているところでございます。

私からのご報告は以上でございます。

○議長（鈴木宗貴君） 管理者からの報告は以上でございます。

ただいまの管理者の報告につきまして、質疑のある方は挙手をお願いいたします。

嶋崎議員。

○8番（嶋崎英治君） 最後の覚書に関連してお尋ねしたいと思います。

1つは、第3項のごみ収集方式の統一化を図るということ、現在も検討されているんだと思うんですけども、調布市と三鷹市、違いますから、それはどういう方向であるのかということが1点です。

2点目は、第5項ですね。このごみ処理施設をつくるときに、市民会議というか、いろんな人たちが参加して、いろんな角度から検討してつくったと思うんですけども、今回、市民参加及びさまざまな云々と書かれています。そういった市民会議を形成して、地元の理解あるいは新たな施設への協力というのが必要だと思うんですけども、その辺はどのように考えていらっしゃるのでしょうか。

第6項の（3）の職員体制ですけれども、増員をして行うのかどうか、現状の中で分担を変えてやっていくのかどうか。

とりあえず、その点までお尋ねいたします。

○議長（鈴木宗貴君） 清原管理者。

○管理者（清原慶子君） ご質問にお答えいたします。私からは、覚書の5項でございます市民参加及び情報公開についてお答えいたします。

私たちは両市ともに、通常の行政でも市民参加、情報公開を重視して取り組んでいる市でございます。その両市が、新たなリサイクルセンターの更新につきまして、現在ふじみ衛生組合としてお願いしております地元協議会もでございますことから、地元協議会の皆様にももちろんご理解をいただくとともに、その他幅広い市民の皆様にも、このリサイクルセンターの更新の意義あるいはあり方についてお知らせし、この資料5-2でお示しましたように、かなり竣工までは長期間かかる事業でございますので、最初の取り組みが極めて重要だとも考えております。したがって、どのような市民の皆様のご意見を聞く仕組みが重要であるか、この覚書にのっとりまして、副管理者ともよく相談をさせていただきながら進めていきたいと思っております。

現時点、どの年度にどのような取り組みをするということの詳細は決まっておられません。方向性だけ確認をしておりますので、今年度後半、さらに両者よく協議をいたしまして、今後の具体的な市民参加のあり方について適時にお示しをまいります。

その他については、担当より補足いたさせます。

○議長（鈴木宗貴君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君）　　まず1点目の収集方式の統一化を図るという点でございますけれども、例えばプラスチック類であれば、汚れたプラは、三鷹市は可燃ごみ、調布市は不燃ごみ、製品プラスチックについては、三鷹市はプラスチック、調布市は不燃ごみというように、プラスチック1つをとってみても、今、統一が図れておりません。1つの施設に入れるわけですから、ごみ質は統一したほうが当然望ましいということで、現在、三鷹市、調布市、ふじみ衛生組合の3者でプロジェクトチームをつくって、その辺を検討しているところでございます。

それから、3点目の職員体制でございますけれども、これは焼却施設の例を言いますと、当初準備室ができた段階で4名の職員でスタートいたしました。したがって、その程度の人数は今回も必要ではないかと考えているところでございます。ただ、ふじみ衛生組合の職員定数条例では15名ということで、定数的にはあと1名の余裕しかございませんので、正規職員に限らず、いろいろ工夫をしながら準備室を設置してまいりたいと考えているところでございます。

○議長（鈴木宗貴君）　　嶋崎議員。

○8番（嶋崎英治君）　　プラスチックの収集の関係で、今例示されました。つい先日モーニングショーで、プラスチックが海に流れて行って、生命に大変な影響があるということが報道されました。三鷹市議会でも、この問題について意見書を決議しているということです。したがって、プラスチックがどう処理されていくか、そして収集されれば何らかの形で処理されていくわけですよね。だから、不法投棄で川に投げられてしまうという、三鷹には仙川があり、野川があり、いずれも調布市につながっていますよね。だから、その辺のところを十分考えながら、収集方法というんでしょうか、処理方法というんですか、考えていただければと思います。

それから、新たなリサイクルセンターですけれども、当組合、理事者と共同で視察をして、若干イメージアップはされたつもりなんですけれども、今、管理者が何年度に何々というところまで、まだ具体的に決まっていないということでした。極力、現状の働き方というのは、ほんとに一刻も早く改善してあげなければというのが、現場を見させていただいての思いです。そうした思いで、現場でいろんな作業をされていた人たちの意見が、この新施設に反映されるような仕組みもぜひ考えていただきたいと思います。

以上が私の質問と意見です。ありがとうございました。

○議長（鈴木宗貴君）　　ほかにごございますか。よろしいでしょうか。

以上で質疑を打ち切ります。

以上7件は、報告のとおりご了承をお願いしたいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(鈴木宗貴君) ご異議なしと認め、管理者報告のご了承をお願いいたします。

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。それでは、これで会議を閉じます。

これにて平成30年第3回ふじみ衛生組合議会定例会を閉会いたします。本日はお疲れさまでした。ありがとうございます。

午前10時23分閉会

以上会議の顛末を書き、その相違ない
ことを証するためここに署名する。

平成30年8月20日

ふじみ衛生組合議会議長

鈴木宗貴

ふじみ衛生組合議員3番

橋正俊

ふじみ衛生組合議員9番

吉野和之